

大田原の農家さんご紹介

五月女農園

農から食までの教育、そして、郷土文化の発信。



育てている農産品	米、うど、じゃがいも、さつまいも等		
体験プログラム	農泊体験、農業体験		
受入可能時期	通年	宿泊可能人数	5人
農泊の特徴	昔ながらの日本家屋に泊まり、田舎を実感できます。		

49年。五月女さんが農業を始めてから、これまで経過した時間です。五月女さんは現在、農作業だけでなく、県内外から多くの皆様を受入れて交流会を開いており、今までの交流人口の数では県内でも抜群の数の体験指導をしている農家さんです。交流会には、園児から小学生とその保護者の方々が参加し、さつまいもの苗植えやお米の収穫、昔の農機具を使ながらの脱穀体験、手作りこんにやく作りや採れたての野菜を使った調理活動も行っています。また、夏には近くに流れる小川で、子どもたちに生き物の採取の体験を通じ、「農業、自然体験を通して食の大切さや生きる力を育んでほしい。」という想いのもとで、農から食、そして、環境にも配慮した体験活動をしております。

さらに、稲刈りが終わった後に、新米を炊いたご飯や実際に使用した農機具、お神酒を奉納していた歴史についても語られます。**現在失われつつある地元の祭りや伝統行事といった郷土文化を、体験に来てくれた人たちと楽しみ、文化まで伝えていくことが、今の日本や地域を支えていく上で大切な教育だ**という想いがあります。

前田牧場

循環する農業。安心して食べられるものを作りたい。



育てている農産品	牛、ブロッコリー、アスパラ、米、いちご等		
体験プログラム	農泊体験、農業体験、循環型農業、6次産業化、肥料作り		
受入可能時期	通年		
宿泊可能人数	5人		
農泊の特徴	古民家を改装した離れに宿泊することができます。		

2500頭のホルスタインを育て、米30ヘクタール、更に12ヘクタールの畑でブロッコリー、アスパラ、トウガラシなどを栽培する前田牧場は、1969年に飼い始めた一頭のホルスタインと、先代からの5ヘクタールの畑からスタートしました。前田牧場の肉は、さっぱりしていてクセがなく、赤肉のおいしさを十分に味わうことができます。しかも、鉄分豊富で低カロリーです。秘密は、牛の寝床に杉のパーク（樹皮を細かくしたもの）を敷いていることです。パークは牛の体を傷つけず、牛が快適に過ごせば健康になります。また牛舎の臭いやハエなどの発生が減ります。前田牧場周辺の地下水が家畜や野菜の栽培に向いていることも大きな要因となっています。

糞尿を吸収したパークを回収し、発酵施設で空気を送り込みながら熟成させて堆肥にします。こうしてできた堆肥は嫌な臭いがせず、繊維質が多く土壌改良効果があり、持続性のある良質な肥料になります。前田牧場ではこの堆肥を年間三万トン生産し、地元の農家やホームセンターなどへも供給しています。自らの手で牛を育て、堆肥を作り野菜を育てる循環する農業（循環型農業）を行っています。**家族に安心して食べさせることができるものを、**というのが前田さんの考えです。

古谷農産

有機農法。百年先、未だ見ぬ子孫にも郷土の自然を伝えたい。



育てている農産品	米、うど、大豆、麦等		
体験プログラム	農業体験、有機栽培		
体験可能時期	通年		
体験の特徴	有機農法、生物多様性を学ぶことができます。		

古谷さんは、農業を始めて今年で26年になります。古谷さんの家は元々農家を営んでおり、2001年から有機による稲作に取り組みはじめました。試行錯誤を繰り返し、今では、米8.7ヘクタール、麦8ヘクタール、大豆7.8ヘクタールを有機栽培で作っています。農業を使う農法でもこれだけの面積を耕作するのは大変なことです。草取りなど手作業の多い有機栽培で、となると想像を絶する苦労があります。

古谷さんの米づくりは「深水農法」といわれる農法と「米ぬか農法」といわれる農法を組み合わせた方法で行い、無駄がなく環境に負担がかからない循環型の農法に取り組んでいます。こうして作られたコメは、粒立ちがはっきりしていて、冷めても甘みがあります。

農業を使い続ければ、虫は世代交代が早いからすぐ抵抗力がつき、また新しい農薬をまくという悪循環に陥り、農薬が地球上に残留していきます。農業は地球の環境に大きな影響を与えます。**人間も小さな虫も一つの命に変わりはない。**地球の環境を守り、生物多様性を維持できる農業にしたい。これが古谷さんの心の底からの思いです。

増村農園

農業についてグリーン・ツーリズムを通じて楽しみ、伝えていきたい。



育てている農産品	ブルーベリー、大根、レタス、キャベツ、花等		
体験プログラム	農業体験、料理体験、フラワーアレンジメント等		
体験可能時期	通年		
体験の特徴	収穫から加工(料理)まで、一貫した体験ができます。		

増村英樹さんはお父様の代から農業を始めた2代目農家さんです。現在は、大田原市中心部近くの畑で大根やレタス、キャベツなど季節に合わせた野菜を栽培されています。無農薬農法にも取り組まれており、大量の野菜を生産して出荷が終わるのではなく、お客様のニーズに応じて消費者の目線で農業をすることの大切さを考えております。さらに、畑から少し離れた那須連山を一望できる場所では、ビニールハウスでブルーベリーや花などの栽培をされています。ブルーベリーや花の収穫はもちろんブルーベリーのジャム作りやフラワーアレンジメントの体験も指導しております。他にも、地元幼稚園・小学校のイベントや授業の一環として収穫体験に協力されたり、都内の中学校で食育について授業をされるなど多様な体験や教育に関して活動をしております。それらの体験活動に対しての強い想いは、農家では珍しいグリーン・ツーリズムのインストラクターの資格を持つことから言えます。「参加された方が、安全かつ有意義に体験してもらう」という考えのもと、様々な体験活動の他に、**農業の様々な形と価値を体験・交流を通して多くの人達に伝えていきたい。**増村さんの心の底からの思いです。

モデルプラン

半日から4泊5日程度の範囲内で、宿泊日数とご希望の体験メニューに応じたプランを作成します。

農家民泊体験の例

1泊2日の場合の例

日次	時間	日 程	場所
1日目		大田原 到着	大田原市内道の駅等
	13:00	入村式 受入れ地域・貴学 受入れ家庭・生徒等 各代表者のごあいさつ、 セレモニー、受入れ家庭の紹介 などが行われます	
	13:30	各受入れ家庭に移動	
2日目	午 後	体験活動～夕食～入浴～宿泊 ※体験活動は各家庭での体験活動 はもとより、プログラムから選んだ体験メニューもできます。	各受入れ家庭
	翌午前	朝食～体験活動～昼食 その後各受入れ家庭から移動 ※体験活動は各家庭での体験活動 はもとより、プログラムから選んだ体験メニューもできます。	
	13:30	退村式 受入れ地域・貴学 受入れ家庭・生徒等 各代表者のごあいさつ、 セレモニー、記念撮影などが 行われます	
2日目		式終了後に各受入れ家庭にお別れをしてバスに乗車	大田原市内道の駅等
	14:00	大田原 出発	

2泊3日の場合の例

日次	時間	日 程	場所
1日目		大田原 到着	大田原市内道の駅等
	13:00	入村式 受入れ地域・貴学 受入れ家庭・生徒等 各代表者のごあいさつ、 セレモニー、受入れ家庭の紹介 などが行われます	
	13:30	各受入れ家庭に移動	
2日目	午 後	体験活動～夕食～入浴～宿泊 ※体験活動は各家庭での体験活動 はもとより、プログラムから選んだ体験メニューもできます。	各受入れ家庭
	終 日	朝食～体験活動 昼食～体験活動 夕食～入浴～宿泊 ※体験活動は各家庭での体験活動 はもとより、プログラムから選んだ体験メニューもできます。	
	午 前	朝食後に 各受入れ家庭から移動	
3日目	9:00	退村式 受入れ地域・貴学 受入れ家庭・生徒等 各代表者のごあいさつ、 セレモニー、記念撮影などが 行われます	大田原市内道の駅等
		式終了後に各受入れ家庭にお別れをしてバスに乗車	
	9:30	大田原 出発	

複合宿泊・体験の例

2泊3日の場合の例

日次	時間	日 程	場所
1日目		大田原 到着	大田原市内道の駅等
	13:00	入村式 受入れ地域・貴学 受入れ家庭・生徒等 各代表者様のごあいさつ、 セレモニー、受入れ家庭の紹介 などが行われます	
	13:30	各受入れ家庭に移動	
2日目	午 後	体験活動～夕食～入浴～宿泊 ※体験活動は各家庭での体験活動 はもとより、プログラムから選んだ体験メニューもできます。	各受入れ家庭
	午 前	朝食～体験活動 ※体験活動は各家庭での体験活動 はもとより、プログラムから選んだ体験メニューもできます。	
	午 後	昼食～体験活動 ※体験活動は各家庭での体験活動 はもとより、プログラムから選んだ体験メニューもできます。 体験活動場所からホテル・ 民宿などの宿泊先へ移動 夕食～入浴～宿泊	
3日目	午 前	朝食～ホテル・民宿 などから移動	ホテル・ 民宿など
	9:00	退村式 受入れ地域・貴学 受入れ家庭・生徒等 各代表者のごあいさつ、 セレモニー、記念撮影などが 行われます	
		式終了後に各受入れ家庭にお別れをしてバスに乗車	
3日目	9:30	大田原 出発	大田原市内道の駅等

- 入村式の際、オプションとして黒羽太鼓等の演出も可能です。詳細は（株）大田原ツーリズムにお問い合わせください。
- 「民泊体験」の場合は、入村式終了後から退村式までのすべての時間を各受入れ家庭ごとに過ごしていただき、それぞれの家庭の活動予定に沿って農村・農業体験を行っていただきます。
- 「複合宿泊・体験」の場合は、各受入れ家庭での農村・農業体験のほかに、ホテル・民宿などに宿泊して受入れ家庭での農村・農業体験とは異なる体験プログラムを行うことができます。
- 各家庭で行う体験活動は実施する時期や受入れ家庭によって内容が異なってきます。
- 上記モデルプランはあくまで一例です。例えば4泊5日といった例もございますので、ご相談ください。
- 各時間や各内容の変更も可能ですので、ご相談下さい。